

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

く、初心者を使いやすさが常に考慮されてゆく必要があると考えております。農学分館の取納増については、このような点も忘れること無しに、何とか考えてゆきたいと思っております。

それにしましても、当初から動きの取れそう

にない大きな問題点をかかえた農学分館の状況に、苛立ちを感じておりますが、少しでも取り組める仕事を捜すことから始めようと思っております。

(いとう・たかし)

医学分館と MEDLINE

医学分館 運用掛長 日 出 弘

1. MEDLINE 小史

医学分館では、1991年5月から独自にスタンダードフロントタイプ（独立型）2セットによるCD-ROM版MEDLINEの検索サービスを開始し、1992年1月から他のCD-ROM検索システム等を加えて医学情報検索コーナーを開設した。

その後、研究室等からTAINS88を経由してアクセスできるネットワークによるCD-ROMサーバシステムに1993年3月から切り替えて、24時間全学向けMEDLINE検索サービスを1996年12月末までおこなってきた。

この間に附属図書館本館（川内）にワークステーションシステムが導入され、MEDLINEを含むデータベースサービスの試行が1996年4月から開始された。

全学向けMEDLINE検索サービスを本格化してからほぼ2年を経過した頃から、医学分館のCD-ROMサーバシステムのハードディスクの一部にハードウェア上の障害が発生し、根本的に障害を解消するためには多額の費用をかけて交換するしかない状況になった。

また、医学分館のサービスの主な対象である星陵地区におけるネットワーク環境が悪化し、医学分館のサーバが正常に作動しているにもかかわらず、研究棟の特定の階の端末だけが接続できない等原因を明確に特定できない障害が散発するようになった。

さらに、MEDLINE検索サービス開始当初

から問題となっていた研究室等で最も良く利用されているマック（Macintosh）を検索端末として使用できないことへの不満、検索ソフトのバージョンアップがおこなわれたが、医学分館のシステムに反映させると現在接続中の大部分の検索端末が利用できなくなることで、旧バージョン対応のCD-ROM（媒体）の提供が一時的ではあったが中止されたこと等々、現有のシステムを維持していくうえで困難な事情が発生していた。

未登録で不正なアクセスを試みるもの、十分な知識もないまま起動フロッピー・ディスクの内容を端末のハードディスクにインストールしたことに起因すると思われる不正切断によるサーバの接続ポート潰し等による接続障害、これらにともなう苦情・問い合わせへの対応、監視業務、及び200台近い登録端末のメンテナンス業務の負担が過大となり、他の通常業務に支障を来すようになった。

このため、医学分館CD-ROM MEDLINE運用委員会にて現状についての報告をおこない、審議をいただいた結果、医学分館CD-ROMサーバ廃止の結論を得るにいたった。その後、医学分館運営委員会で審議のうえ、正式に1996年12月末での廃止を決定した。

これにより、医学分館が独自にMEDLINE検索サービスをおこなう時代は終了した。

1997年からは、東北大学附属図書館のネット

ワークを介したデータベースサービスのなかで、医学分館利用者に対し、検索端末の提供・マニュアルの作成・操作指導等で医学分館としての役割を果たしていくことになる。

2. 新検索システムの設置

今回の MEDLINE 検索システムの変更にあたっては、医学分館の特殊性を考慮してつぎの点に配慮した。

- (1) 星陵地区の LAN(TAINS88)がかなり混雑していても、操作性に影響を与えないこと。
- (2) 利用者が誤操作をおこなった場合でも簡単に正常な状態に復帰(リセット)できること。
- (3) 自動立上げ・自動終了をおこなっても端末側の機器にハード・ソフトウェア上の障害を与えないこと(セルフサービス・システム)。
- (4) OVID(検索ソフト)を完全に利用できること。
- (5) 図書館として遵守しなければならないデータベース提供者との契約事項に抵触しないこと。

これらの点を可能とするため、最終的にはテルネット(Telnet)版による接続とした(アライドテレシス(株)製 PC/TCP Ver.6.0を使用)。停電したり、図書館本館(川内)のデータベース・サーバや TAINS88 が機能停止しない限り、いつでも快適に利用できる環境を提供している。

ネットスケープ(Netscape)等の Web 版ブラウザのように、カラー表示やアイコンもなく、見た目は美しくないかもしれないが、検索機能は充実している。(医学分館の場合は、共同利用のために一部の機能を制限している。)

医学分館の検索システムの設定は、外部業者に依頼しており、運用掛に人事異動があっても、費用さえかければシステムの変更・ソフトウェアのバージョンアップ・機器の更新等ができるようにしてある。

端末側のシステムは MS-DOS 上で動いており、自動的に立上げ・終了ができ、誤操作等障

害発生時には、端末の機種・MS-DOS のバージョンにより多少の違いがあるものの、1分程度で再起動が可能である。

現在提供しているデータベース(MEDLIN, Current Contents 等)は文字だけで構成されており、画像や音声情報も処理できる Web 版ブラウザを使う必要はない。

極端な表現をすれば、軽貨物車で運べる荷物を大型特殊貨物車で運送しているようなもので、ネットワークに余計な負担をかけて、自分も困り他の利用者にも迷惑をかけるのである。ネットワーク利用者が大きなソフトをむやみに流していたのでは、いくら LAN の高速化をはかってもすぐにまた渋滞を引き起こしかねない。

星陵地区ではネットワークが渋滞してはいらいらせられる時間帯があるが、Telnet 版ではほぼ同じレスポンス(応答速度)を維持することができる。利用者にとっては、医学分館へ行けばいつでも同じ条件で利用できるということのほうが大事であろう。

データベース提供者のなかにさえ MS-DOS 版など時代遅れと思っている人たちがいるようだが、マックや Windows 95 のように何でもできるというのは個人的利用には適しているが、機械に強い人弱い人・正しい操作を考える人そうでない人、どんな人が使うかわからない共用端末では、その分システムの障害が起こりやすくなる。

簡単にリセットできないばかりでなく、端末側の全ソフトを再インストールしなければならない場合等には、利用者・図書館員双方に大きな迷惑をかけることになる。

また、医学分館の検索端末は、データベースの検索専用の仕様になっており、ネットサーフィンで遊んでいる利用者の後ろでいらいらしながら待つこともないし、利用者同士で無用な摩擦が発生する恐れもない。

利用者 ID を特に意識しなくてもサーバに接続できる仕様になっているので、セキュリティ

上の問題も Web 版ブラウザに比べればかなり少ないと言える。

3. 利用者支援

検索端末のおもな利用時間帯は、午後から深夜となることが多いため、ほとんどの場合、利用者がマニュアルを参照しながら試行錯誤を繰り返して検索方法を身につけていくことになる。

このような利用の仕方では、マニュアルの内容をどの程度のレベルの利用者に置くかが大事になるのだが、1997年1月の検索端末の切替時には、旧システムのマニュアルとほぼ同じ程度の暫定版を作成し、1ヶ月ほど検索端末の側に置いて様子を見た。

その結果、利用者によっては十分に使いこなせないことが明らかになったため、OVID の簡易モードによる初歩的な操作を詳細にわたって説明したマニュアル「MEDLINE 簡易検索入門」を作成し、利用者の便宜をはかっている。もちろん慣れた利用者は通常モードの MeSH 検索等 OVID の優れた検索機能を十分に活用している。

OVID の検索ソフトは英文によるヘルプ画面も良くできているので、慣れてしまえば、サーバとのレスポンスも医学分館内にサーバがあった旧システムよりも格段に早いこともあり、すみやかに自分の必要な情報を探することができる。

フロッピーディスクへのデータのセーブは、「検索ソフトでサーバから検索端末にデータを送るトランスミッション (transmission) 機能の on, off 操作」と、「端末側でフロッピーディスクに書き込むスクリーン・キャプチャ (screen capture) 機能の on, off 操作」の二つの操作を同時におこなうため、始めは多少戸惑うようだが、これも慣れてしまえばいたって簡単な操作である。

初めての利用者でよくわからない時は、図書館員または親切な隣の端末の利用者に聞いていただければ、一人で悩んでいるよりは早く覚えることができる。

そのほか検索端末を操作するにあたって注意していただきたい事項は、マニュアルに記載してある。マニュアルの例を全部試してみても5分ぐらいしか掛からないので、是非一度目を通して欲しい。

いきなり自分の検索したい語で試す利用者もいるが、操作方法が違うのか検索語に問題があるのかわからなくなって混乱することがある。

また、医学分館では、毎年医学部大学院生を対象としたオリエンテーション (講義と検索実習) をおこなっているが、本学から大学院に進んだ学生の受講が少ないのが気がかりである。

学部学生時代にはまとまった図書館の利用案内は受けていないので、案外知らないことも多いはずである。せめて配付資料だけでも読んでいただきたい。

4. MEDLINE と Current Contents etc.

MEDLINE 信奉者にあえて一言いわせていただくが、MEDLINE (月1回更新) にはタイムラグ (データ収録の遅延) がかなりあるので、最新のデータを Current Contents (週1回更新) で補うことをお勧めする。

MEDLINE 検索端末では、データベース選択画面から Current Contents を選択できるので、必要なデータを検索する。データを取り出すだけなら MEDLINE の検索と同じ方法で利用することができる。

もし、目次を取り出したい場合は、マニュアル「Current Contents 目次検索入門」を使って検索すると良い。どのぐらいのタイムラグがあるかは、「最新収録データ比較」を参照されたい。

Current Contents への収録とはほぼ同時に新着雑誌コーナーに現物 (雑誌) が配架されるが、Current Contents は抄録付き (収録論文の約70%) なので、原論文にいきなりあたるよりは忙しい時間を有効に使うことができるはずである。

なお、研究室等で Web 版ブラウザを使用している利用者のためには、マック画面によるマニュアル「Web 版 OVID Current Contents

目次検索入門」を作成し、4月初旬に星陵地区の全講座・部門等に配付済みである。

また、なんらかの障害が発生したために図書館本館のデータベースサーバに接続できない場合や、MEDLINE のデータを補完する意味で、スタンドアロンタイプの EMBASE (Alert 版) CD-ROM 検索システムを1セットおいている。

検索ソフトが旧 MEDLINE 検索システムで使用していたもののバージョンアップ版であることもあってか、このシステムだけで検索をすませている利用者もみかけるが、MEDLINE に代わるものではないので、非常に危険な利用の仕方といわざるをえない。

医学情報検索コーナーでは、いずれもスタンドアロンタイプの CD-ROM 検索システム、日本語の論文を検索するための医学中央雑誌と、ISI 社の自然科学関連論文の引用関係に着目した独創的で学際的な索引である SCI (Science Citation Index) も利用に供している。

今回の検索システムの変更は、現在の医学分館のおかれている状況をふまえておこなったも

のである。現時点では最良の方法を選択したつもりだが、今後も引き続き定員削減や、行財政改革にともなう業務の見直しといった組織構成上の変革ばかりでなく、ネットワーク環境や利用者の要求も、以前には考えられないほど急激に変化していくものと思われる。

技術の進歩やデータベースサービス・電子図書館化の動向にも注意をはらいながら、常にシステムの自己評価をおこなって、改善すべき点があれば適切な変更を加えていかなければならない。

これまで10年～20年と図書館の維持・発展に貢献してきたと自負している図書館員も多いと思うが、国立大学の民営化を視野に入れた検討もおこなわれている変革の時代にあっては、科学的裏付のない経験などただの昔話の種にしかないのではないだろうか。

職責や雇用形態に関わりなく、今後図書館員として東北大学の研究・教育活動にどのように貢献しうるのか常に自分自身に問いかけ、研鑽を積んでいかなければならない。

MEDLINE & Current Contents 最新収録データ比較 (1997.5.15現在)

雑 誌 名	MEDLINE (May 1997)	Current Contents (WK 19 1997)
Cancer Research	57 (4) 1997 Feb 15	57 (8) 1997 Apr 15
Cell	88 (4) 1997 Feb 21	89 (1) 1997 Apr 4
Lancet	349 (9044) 1997 Jan 4	349 (9059) 1997 Apr 19
Nature	385 (6612) 1997 Jan 9	386 (6627) 1997 Apr 24
New England Journal of Medicine	335 (26) 1996 Dec 26	336 (17) 1997 Apr 24

参考資料

- 1) 佐藤義則 “資料としての ‘CD-ROM’ について” 「木這子」 Vol.15 No.3-4 p.11-13 1991
- 2) 矢野光雄 “学術情報の流通と図書館サービス—蓄積から流通へ—” 「木這子」 Vol.16 No.1-2 p.6-7 1991
- 3) 小野和夫 “医学分館に「医学情報検索コーナー」開設” 「木這子」 Vol.16 No.3-4 p.17 1992
- 4) 阿部佳市 “CD-ROM MEDLINE on TAINS の利用開始” 「木這子」 Vol.18 No.1-2 p.18-29 1993
- 5) 「平成7年度 東北大学附属図書館医学分館要覧」 1995
- 6) 「らいぶらり NOW—附属図書館速報—」 no.44('97.3) no.43('97.3) no.38('96.3) no.13('93.2) no.1('91.6)

平成8年度特別図書購入報告

特別図書購入費(文部省配分)によって下記資料を購入し、本館に備え付けましたのでご利用ください。

番号	資 料 名	内 容	出版形態
1	A Collection of Modern Education in England and Europe. (近代教育史コレクション)	英国を中心とした近代教育思想関係のコレクション。ロック、ルソー、ヘルバルト等日本の教育思想に影響を与えた人々の原典、及び研究書。	図 書
2	Early English Books. Unit 94-96. (近世初期英語印刷文献集成)	清教徒革命から王政復古に至る期間の英国初期刊本を集成したもの。	マイクロ フィッシュ
3	Parliamentary Debates. House of Lords 5th Ser. vol. 565-570. House of commons 6th ser. vol. 257-270. (英国議会議事録)	英国議会両院における会期毎の議員の発言・討論を逐語的に収録したもの。	図 書
4	Hansische Geschichts-blaetter. (ハンザ史研究論叢)	中世後期から近世にかけて北ヨーロッパの政治経済的文化的発展にきわめて重要な役割を果たした「ハンザ同盟」の研究に必要な不可欠な学術雑誌。	図 書
5	新生理科学大系 第1巻-22巻	生理科学および関連領域における最新の研究成果を集大成したものである。	図 書
6	GHQ トップ・シークレット文書集成 第Ⅱ期：行政・法律関係文書	GHQ 関係文書の内、最高機密と分類され、米国公文書館に特に別直される重要文書類の中から行政・法律関係文書を収録した資料集。	図 書
7	日本の会社史 グループⅢ	日本の主力・中堅企業が刊行する「会社史」約2500点を収録するコレクション。明治以来の我が国の産業・経営の歴史的経過を辿る上で必須の文献である。	マイクロ フィルム
8	伝記叢書：日本で活躍した外国人	近代日本の対外関係、異文化交流史に必要な文献群である。	図 書
9	The Growth of the world Economy. (世界経済の成長)	中世末から1960年までの世界経済の成長を扱った既発表の重要論文を精選したもの。	図 書
10	Biological Abstracts / Bio-logical Abstracts RRM on CD. 1989-1994 (生物学関係論文抄録誌)	生物科学及び生物医学における包括的、世界的に収録した抄録集。	CD-ROM
11	Environment & Behaviour : An Interdisciplinary Journal. Vol. 1-27 (環境と行動研究)	環境と人間行動に関する学際的雑誌。行動科学に限らず広く人文・社会科学全体に関わる。	図 書

データベース講習会の開催について

図書館では、今年度より、下記のデータベース利用に関する講習会を、定期的に開催していくことにしました。

これらの講習会に関しては、館内掲示及び図書館ホームページ (<http://www.libraly.tohoku.ac.jp/>) で最新情報をご案内しておりますのでご覧ください。

なお、7名以上のグループからのお申し込みであれば、随時、開催いたしますのでご相談ください。

記

- ・ [新] 蔵書検索システム
- ・ 雑誌記事索引／新聞記事索引 CD-ROM
- ・ OVID データベース
- ・ SCI／SSCI、及びその他の CD-ROM

※連絡及び問い合わせ先：

本館レファレンスデスク

Tel:217-5933, Fax:217-5949

E-mail:desk@library.tohoku.ac.jp

第28回国立大学図書館東北地区協議会総会

標記会議が4月23日～24日の2日間、宮城教育大学を会場として東北地区7大学より26名が参加して開催された。

協議に先立ち、宮城教育大学横須賀館長の挨拶があり、続いて慣例により会場館の横須賀館長が議長に選出された。

出席者の自己紹介の後、横須賀館長から、国立大学図書館協議会等の活動状況については、先に議事要録等が各大学に配布されているので、改めて報告は行わない旨発言があり、次いで、第44回国立大学図書館協議会総会に提出する議題、要望事項等について次のとおり決定した。

1. 文部大臣等に対して特に要望すべき事項
 - (1) 学術図書・雑誌・電子情報資料等購入費の増額について
 - (2) 電子図書館化に対応したシステムの高度化並びに施設の整備・充実について

(3) 有能な図書館職員の確保及び処遇改善について

2. 総会の分科会で検討するための協議題

(1) 第1分科会

図書館業務の合理化・省力化の推進について

(2) 第2分科会

ネットワークを活用した電子的図書館サービスの連携協力について

なお、平成9年度理事候補館及び所属部会ならびに地区連絡館がそれぞれ次のとおり選出された。

理事候補館

福島大学附属図書館 (第1部会)

東北大学附属図書館 (第2部会)

地区連絡館

東北大学附属図書館

附属図書館商議会商議員名簿

平成9年4月1日現在

所 属	氏 名	任 期	電 話 番 号
図 書 館 長	小 山 貞 夫	官 職 指 定 (6.12. 1～9.11.30)	2 1 7 - 6 2 1 0
医 学 分 館 長	高 坂 知 節	官 職 指 定 (7.12. 1～9.11.30)	7 1 7 - 7 3 0 1
北 青 葉 山 分 館 長	加 藤 順 二	官 職 指 定 (8. 4. 1～10. 3.31)	2 1 7 - 6 3 8 2
工 学 分 館 長	福 田 正	官 職 指 定 (8. 4. 1～10. 3.31)	2 1 7 - 7 5 0 3
農 学 分 館 長	伊 藤 敏 敏	官 職 指 定 (9. 4. 1～11. 3.31)	7 1 7 - 7 8 1 1
事 務 局 長	伊 藤 博 之	官 職 指 定 (8.11. 1)	2 1 7 - 4 8 0 1
文 学 部 教 授	佐 藤 勝 則	8.10. 1～11. 3.31	2 1 7 - 6 0 5 0
教 育 学 部 教 授	水 原 克 敏	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 6 1 3 1
法 学 部 教 授	青 井 秀 夫	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 6 2 0 7
経 済 学 部 教 授	柘 植 徳 雄	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 6 2 9 1
理 学 部 教 授	吉 藤 正 明	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 6 5 5 8
医 学 部 教 授	飯 沼 一 字	8. 4. 1～10. 3.31	7 1 7 - 7 2 8 4
歯 学 部 教 授	山 田 正	5. 4. 1～11. 3.31	7 1 7 - 8 2 9 4
薬 学 部 教 授	小笠原 國 郎	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 6 8 4 6
工 学 部 教 授	宮 崎 照 宣	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 7 9 4 6
農 学 部 教 授	折 谷 隆 之	9. 4. 1～11. 3.31	7 1 7 - 8 7 8 3
国際文化研究科教授	橋 田 担	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 7 6 1 6
情報科学研究科教授	浅 野 楯 英	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 5 0 7 1
金属材料研究所教授	福 田 承 生	6. 4. 1～11. 3.31	2 1 5 - 2 1 0 0
素材工学研究所教授	水 渡 英 昭	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 5 1 5 6
加齢医学研究所教授	貫 和 敏 博	8. 4. 1～11. 3.31	7 1 7 - 8 5 3 4
科学計測研究所教授	島 田 寛	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 5 3 5 6
流体科学研究所教授	井 上 督	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 5 2 5 6
電気通信研究所教授	山之内 和 彦	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 5 5 2 6
反応化学研究所教授	山 内 清 語	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 5 6 1 7
遺伝生態研究センター教授	亀 谷 壽 昭	8. 4. 1～10. 3.31	2 1 7 - 5 6 8 1
大学教育研究センター教授	関 内 隆	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 6 2 9 7
言語文化部教授	畠 中 美 菜 子	9. 4. 1～11. 3.31	2 1 7 - 7 6 2 2

人 事 異 動

平成9年6月1日現在

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
9. 3. 1	農学分館長	酒 井 惇 一		任期満了
"	附属図書館医学分館事務長	佐 藤 定 夫		定年退職
"	事務補佐員(北青葉山分館整理・運用掛)	越 路 崇 子		辞 職
9. 4. 1		伊 藤 敏 敏	農学分館長	併 任
"	附属図書館総務課長	門 田 泰 典	埼玉大学附属図書館事務部長	昇 任
"	庶務部庶務課総務掛長	淵 辺 剛	附属図書館総務課課長補佐	"
"	附属図書館医学分館運用掛	相 川 晶 子	北青葉山分館整理・運用掛長	"
"	筑波大学附属図書館情報管理課長	谷 口 聰	附属図書館総務課長	配 置 換
"	附属図書館総務課課長補佐	佐 藤 正 義	国際文化研究科等事務長補佐	"
"	文部事務官(経済学部庶務掛主任)	下 山 紀 子	文部事務官(総務課庶務掛主任)	"
"	文部事務官(情報管理課受入掛)	照 内 弘 通	文部事務官(総務課システム管理掛)	"
"	文部事務官(総務課システム管理掛)	永 澤 恵 美	文部事務官(情報管理課受入掛)	"
"	文部事務官(総務課システム管理掛)	對 馬 庸 二	文部事務官(情報管理課逐次刊行物掛)	"
"	北青葉山分館管理掛長	菊 地 房 雄	情報サービス課閲覧第一掛長	"
"	農学分館図書掛長	嶺 岸 文 男	情報サービス課閲覧第二掛長	"
"	文部事務官(情報管理課逐次刊行物掛)	半 澤 智 絵	文部事務官(情報サービス課参考調査掛)	"
"	文部事務官(北青葉山分館整理・運用掛)	菅 原 淑 子	文部事務官(情報サービス課相互利用掛)	"
"	宮城教育大学附属図書館事務長	村 岡 徹	医学分館事務長	"
"	文部事務官(情報管理課と漢書目録情報掛)	三 浦 純 子	文部事務官(医学分館運用掛)	"
"	文部事務官(北青葉山分館整理・運用掛長)	星 政 則	北青葉山分館管理掛長	"
"	文部事務官(情報サービス課相互利用掛)	南 館 義 孝	文部事務官(北青葉山分館整理・運用掛)	"
"	情報サービス課閲覧第一掛長	川 村 隆 男	工学分館図書館専門員	"
"	情報サービス課閲覧第二掛長	湯 本 智 子	農学分館図書掛長	"
"	文部事務官(工学分館管理掛)	佐 藤 博 子	文部事務官(経済学部図書室)	"
"	文部事務官(総務課庶務掛主任)	佐々木 信 博	文部事務官(医学部附属病院総務課文書掛主任)	"
"	文部事務官(情報サービス課閲覧第一掛)	勝 本 加奈子	宮城工業高等専門学校庶務課図書係	転 任
"	宮城工業高等専門学校庶務課図書係	湯 目 昌 史	文部事務官(情報サービス課閲覧第二掛)	"
"		高 橋 菜穂子	情報サービス課閲覧第一掛	採 用
"	事務補佐員(情報管理課逐次刊行物掛)	岩 淵 公 子	事務補佐員(農学分館図書掛)	配 置 換
"	事務補佐員(農学分館図書掛)	丸 本 六 穂	事務補佐員(情報管理課逐次刊行物掛)	"
"	事務補佐員(工学分館整理運用掛)	菅 野 知 子	事務補佐員(工学分館管理掛)	"
"		高 野 博 子	事務補佐員(情報サービス課閲覧第一掛)	採 用
"		花 岡 吉	事務補佐員(北青葉山分館整理・運用掛)	"
9. 5. 31	事務補佐員(情報管理課洋書目録情報掛)	小 野 千恵子		辞 職
6. 1		岩 井 美紀子	事務補佐員(情報管理課洋書目録情報掛)	採 用

お 知 ら せ

会 議

平成9年度総合研修委員きまる

今年度の総合研修委員の選挙が来る4月22～23日の両日実施され、下記の5名が選出された。館長より委員の委嘱をうけ、この1年間職員のための研修計画と実施に活躍されることが期待される。

記

横 山 美 佳
永 澤 恵 美
半 沢 智 絵
照 内 弘 通
對 馬 庸 二

◎学 内

- 9. 4.14 記念資料室運営委員
- 4.17 総合情報システム運用センター運営委員会
- 5. 7 施設の将来構想に関する検討小委員会

◎学 外

- 9. 4.23 国立大学図書館東北地区協議会
～24 (於：宮教大)
- 4.24 国立大学図書館東北地区協議会幹事会
(於：東北大)
- 5.27 国立大学図書館事務部課長会議
(於：東京医科歯科大)
- 5.28 国立大学図書館協議会受賞者選考委員会
(於：東京大)
- 5.28 国立大学図書館協議会常務理事会
(於：東京大)
- 5.29 国立大学図書館協議会理事会
(於：東京大)
- 5.30 文部省シアリング (於：文部省)
- 6.13 外国雑誌センター館会議
(於：一橋大)
- 5.25 国立大学図書館協議会総会
～26 (於：京都大)

編 集 後 記

新年度を迎えたと思ったら、早や2か月半が過ぎようとしています。読者の方々は、お忙しい日々を送っていることと思います。

本館も、この4月から、夜間開館を本格的に9時までにするようになりましたので、多くの方々の利用を期待しております。でも物騒な世の中ですので、帰宅される際には気をつけてください。

仙台も梅雨入り宣言、じめじめした日が多くなり不快感の増す日々ですが、でも晴れた日には新緑の匂いがすばらしく、すがすがしい気持ちになれます。

この4月から一部の広報委員が交代しましたが、発行以来20年も続いている木這子を通じての充実した広報の役割を担っておりますので、委員一同張り切っております。読者の皆様のご支援をお願いいたします。また、本号のために御寄稿いただきました皆様、本当にありがとうございました。(F)

広報委員

谷内 聡 淵辺 剛 三澤 隆一
小松 武彦 湯目 昌史 森脇 ちか
今出 朱美 沼田 幸子 藤沢 和子

東北大学附属図書館館報「木這子」 第22巻第1号(通巻78号)発行日 平成9年6月30日

発行人 辻 英雄 広報委員長 谷内 聡

発行所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話 022-217-5910